

第 69 回日米学生会議 in 三重

1934年に創設された日本初の国際的な学生交流プログラム、日米学生会議。
自然と人間、古代と現代が交差する三重県で、日本とアメリカの学生が、
日本的精神のルーツを探り、現代が抱える様々な問題に向き合います。



(県内各地の写真提供：(公社)三重県観光連盟)

【日程】平成 29 年 8 月 17 日(木)～8 月 21 日(月) (詳細は裏面参照)

- 18 日 日本の精神性のルーツを探る(皇學館大学、神宮徴古館、内宮、おほらい町など)
- 19 日 海女文化の精神を学ぶ(海の博物館、鳥羽市相差地区)
- 20 日 食という文化を考える ほかに(相可高校、まごの店、万協フィギュア博物館)
ものづくりパネルディスカッション(三重大学)
- 21 日 四日市公害の歴史を学ぶ(四日市公害と環境未来館)、
桑名の千羽鶴(連鶴)体験(六華苑)
三重フォーラム(NTNシティホール(桑名市民会館))
レセプション(くわなメディアライヴ)、夜景見学(四日市港ポートビル)

※17日は愛媛県からの移動日

主
後
共
協

催：一般財団法人国際教育振興会 / 企画・運営：第 69 回日米学生会議実行委員会
援：三重県(一部共催)、桑名市、四日市市、津市、伊勢市、鳥羽市、多気町、皇學館大学
催：三重大学(一部)
賛：津商工会議所、四日市商工会議所、伊勢商工会議所、松阪商工会議所、鈴鹿商工会議所、
桑名商工会議所、上野商工会議所、亀山商工会議所、尾鷲商工会議所、名張商工会議所、
鳥羽商工会議所、熊野商工会議所、三重県商工会連合会、多気町商工会、JA全農みえ

第 69 回日米学生会議 in 三重 行事一覧

行事名	日時	場所	主な参加者	概略
日本の精神性のルーツを探る	8/18(金) 9:00～ 16:30	皇學館大学 神宮徴古館 内宮及び周辺	皇學館大学 櫻井教授 神宮司廳職員 県内学生約 25 名	昔から続いてきた日本人の精神文化について学ぶ。 内宮参拝、おはらい町散策を通じて県内学生と交流。
海女文化の精神を学ぶ	8/19(土) 13:00～ 17:00	海の博物館 鳥羽市相差地区	石原館長 相差地区の海女さん	海女文化の実態と現代的意義についての理解を深める。
食という文化を考える ほか	8/20(日) 11:30～ 14:30	相可高校 まごの店 万協フィギュア博物館	多気町長 相可高校食物調理科	相可高校食物調理科の生徒との交流を通じて食文化を学ぶほか、多気町内の観光スポットを訪問する。
ものづくりパネルディスカッション	8/20(日) 15:30～ 18:45	三重大学	三重大学 堀副学長 浅井農園(株) 蒼築舎(株) パイロット(株) みて(株) 吉田本家 県内学生約 35 名	日本人の精神文化が、現在の産業にどのように根付いているかを学ぶ。
四日市公害の歴史を学ぶ	8/21(月) 8:30～ 11:30	四日市公害と環境未来館	四日市市長 語り部 県内学生約 25 名	四日市公害を乗り越えてきた歴史を学ぶ。
桑名の千羽鶴(連鶴)体験	8/21(月) 12:20～ 13:45	六華苑	桑名の千羽鶴を広める会 地元高校生約 30 名	「桑名の千羽鶴」の体験を通して、地元高校生と交流する。
三重フォーラム	8/21(月) 14:00～ 17:00	N T N シティホール(桑名市民会館)	宮澤正明氏 鎌田雄介氏 鈴木知事 桑名市長 地元高校生約 10 名	三重県で学んだことを、三重県のみなさんへ報告する。 (基調講演、地元高校生による発表、パネルディスカッションなど)
レセプション	8/21(月) 17:30～ 19:30	くわなメディアライヴ	J A 全農みえ	三重県でお世話になったみなさんとの歓談 伊勢茶ブースの出展
夜景見学	8/21(月) 20:30～ 21:30	四日市港ポートビル	—	四日市公害を乗り越えた四日市の現在を学ぶ。

【問い合わせ先】(日米学生会議について)一般財団法人国際教育振興会 TEL:03-3359-0563
(三重県内の行事について)三重県雇用経済部国際戦略課 TEL:059-224-2844